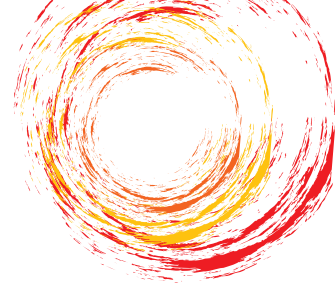


大阪市立大学 第15回 教育改革シンポジウム



【全体テーマ】

大阪市立大学にはどのような学生が入学し、どのように
学生生活を送っているのか—各種調査結果から考える

日時：2008年9月29日(月) 午後2時半～5時 (発表+ディスカッション)

場所：大阪市立大学杉本キャンパス 学術情報総合センター1F 文化交流室

◆シンポジスト発表 (1時間15分程度)

「大阪市立大学の学生はどのような学生なのか?—各種調査から考える」

第1部

①「データから見る高大接続の実態と学生像」

大学教育研究センター 大久保 敦

②「在学生を対象にした各種調査から見る学生像と学生生活」

大学教育研究センター 西垣 順子

③「卒業生に関する企業調査からみる学生像」

学生支援課 就職担当課長 大島 禎



◆パネルディスカッション (指定討論者コメント+ディスカッション) (1時間程度)

「大阪市立大学の学生像と、彼らに必要な学びや教育(支援)とは？」

第2部

シンポジスト : 大久保 敦、西垣 順子、大島 禎

指定討論者(コメンテーター) : 大阪府立三国丘高等学校 田中 政広 教諭

(同校の現、進路部長 本学理学部数学科平成元年卒)

「大阪市立大学への進学選択と市大に進学する学生の様子」

全体司会 : 長崎 健 (工学研究科・大学教育研究センター)・飯吉 弘子 (大学教育研究センター)

「大阪市立大学にはどのような学生が学んでいるのか、彼(女)らをどの様に学ばせ、どの様に教育(支援)するのか」を、今年度の大阪市立大学の全学的FD企画の統一テーマとして掲げ、1年を通じて、大阪市立大学の学生像や彼らにとって意味ある学びや教育(支援)のあり方について話し合う機会を持てればと考えています。

本シンポジウムでは、そのためのまず第一歩として、学生に関する各種調査の客観的データ等から、学ぶ主体であり教育対象である本学の「学生」についての理解を深めてみたいと思います。第1部のシンポジスト発表では、学内の大学教育研究センター専任教員および就職支援課長から、学生の入学時～在学中～卒業後に関する調査から見える学生像についての発表を予定しています。第2部のパネルディスカッションでは、それら3者に加えて学外から、多くの学生を本学に進学させておられる大阪府立三国丘高等学校の進路指導部長の先生をお迎えし、本学に進学する学生の様子や進学選択の状況についてのお話いただきながら、本学の学生像への理解を深め、彼らに必要なと考えられる教育について考えてみたいと思います。

ともすれば、イメージで語ってしまいがちな学生像を、客観的かつ多面的に理解・把握し、彼らに必要な学び・教育や教育支援について考えるヒントが得られればと考えています。皆さまには、万障お繰り合わせの上、宜しくご参集下さいますようお願い申し上げます。

会費無料で当日参加も歓迎ですが、定員になり次第申込みを締め切らせていただく可能性もあります。

また準備の都合もあるため、参加を希望される方は、お手数ですが、できれば事前にメールで参加申込み(氏名・所属・連絡先 E-Mail 等を明記)をお願いいたします。

▶主催・連絡先

大阪市立大学 大学教育研究センター

申し込み先メールアドレス : center@rdhe.osaka-cu.ac.jp

Fax : 06-6605-2137